

A photograph of an outdoor swimming pool with blue water and lane markers. The pool is surrounded by a concrete deck. In the background, there is a building with large windows and doors. The text "SANSHIN GROUP Monthly Report on the ESG Aug.2022" is overlaid on the left side of the pool.

SANSHIN GROUP
Monthly Report on the ESG
Aug.2022

INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report（品質）
4. ESG Report（環境）
5. ESG Report（地域貢献とワーク・ライフ・バランス）
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンハウ

TOP MESSAGE

8月2日のペロシ米下院議長の台湾訪問に対する報復として、中国は台湾周辺で実弾を使った大規模な軍事演習を実施し、双方の貿易を一部停止した。実際に弊社EMS先への支給部品である台湾製部品等INVOICE、PACKING LIST上に原産地（COUNTRY OF ORIGIN）をMADE IN TAIWANやROC（Republic of China）等の表記されていた場合、貨物が没収されるとの連絡を受け、急遽TAIWAN、CHINAとの表記に変更した経緯がある。これは、台湾は中国の一部であることを明確に表現させる事を目的としているのであろう。

しかし、実際に中国が台湾に課した制裁措置は、中国産天然砂、台湾産柑橘類、2種類の魚の輸入禁止に限定されたものであったが、中国は台湾にとって最大の貿易相手国であり、中国政府が経済制裁の対象にできるアイテムは限られている。理由は、半導体の輸入禁止や台湾の港湾の完全封鎖など極端な措置を行えば、中国経済にとって確実に大きな痛手となり天に唾する事となるからであろう。

三新電気香港有限公司
代表取締役総経理 兼 C.O.O.
新井 晶

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

8月31日は「や(8) さ(3) い(1)」、野菜の日なのだそうです。語呂合わせで何かの記念日になるというのはよくある事ですが、その事を考えるのにいっきかけでもあると思います。私も普段の食生活見直してみようと思います。(Y.Y.)

SANSHIN Hong Kong

外食する時、多くのレストランは客に適量を注文して、食べ物を浪費しないようにと注意されています。全面的に小康に入る同時に、やはり、一部群体の衣食問題を重視する必要があります。食糧を大切に、私たちから始めましょう。(P.L.)

CSI

交通手段の改造軽自動車ジプシーやバイクのサイドカーを見る事が少なくなりました。代わりに最近よく見かけるのが小型のマイクロバスです。今回はうまくシフトしているようです。バスターミナルも各所に出来ました。以前と比べ渋滞が緩和されてきております。(K.S.)

SANSHINWest

今年の梅雨明けは異例の早さでした。ラニーニャ現象と偏西風の蛇行が原因だと言われていますが、ラニーニャ現象が起こっても地球の温暖化は加速し続けています。CO2を減らす取組は身近なところでエコバッグの使用、10回以下の使用ならばビニール袋の方がエコだそうです。使い方を考え、自身にあった取組を考えていきましょう(F.H.)

SHINKOWA

今年の夏もそろそろ終わりそうな感じがしていますが、9月10月に入っても暑い日が続くような予感がします。近年の日本は四季というものあまり感じられなくなったと思います。急に寒くなったり、はたまた暑くなったりと四季から二季になったのかと度々思います。これも地球温暖化のせいなのか、それとも自然の摂理なのか、地球温暖化のせいであれば止めたいものです。(H.K.)

SC2

福岡県宗像市「地島(じのしま)」。ここで無添加洗剤のみを使って暮らす実験が行われました。結果、石けん洗剤はわかめの生育に悪影響を与えないこと、一方で合成洗剤の排水はわかめの生育を阻害することがわかったそうです。豊かな海を守るために、小さな島で行われた大きな意義のある実験でした。(M.I.)

ESG Report (品質)

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

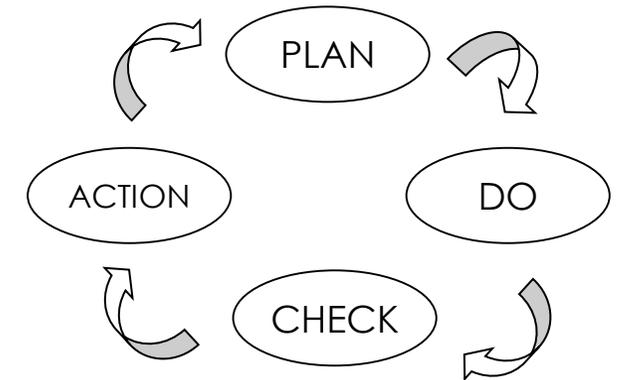
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

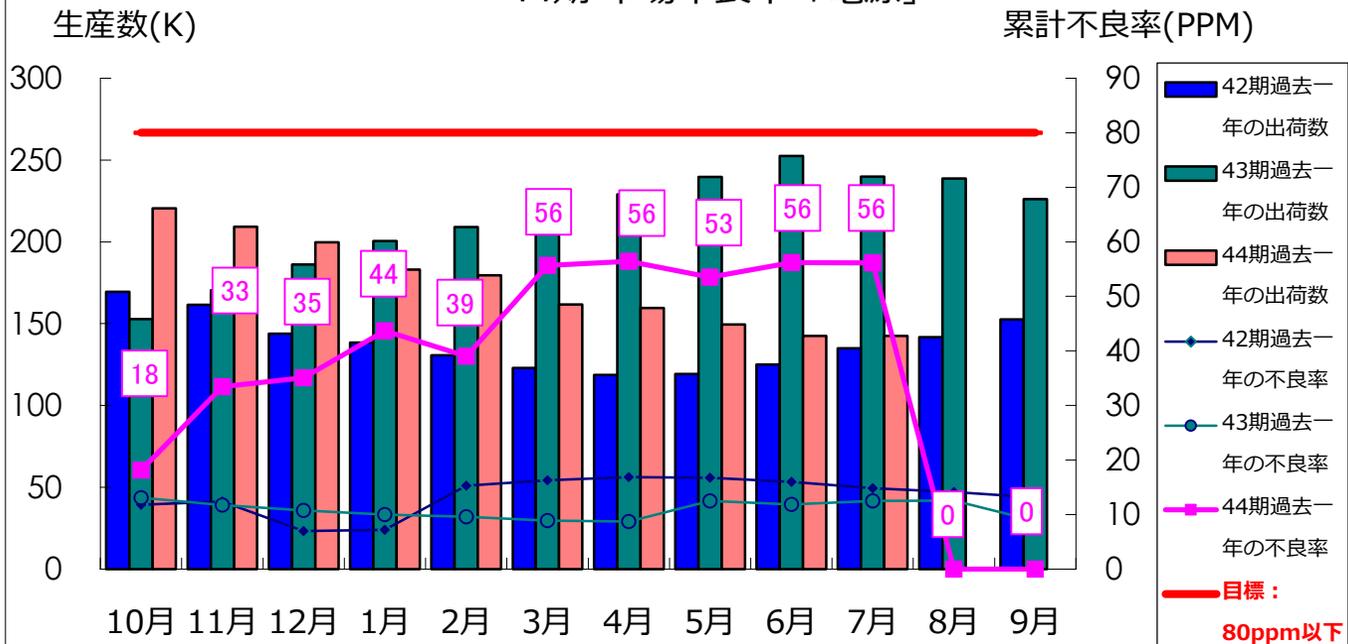
* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

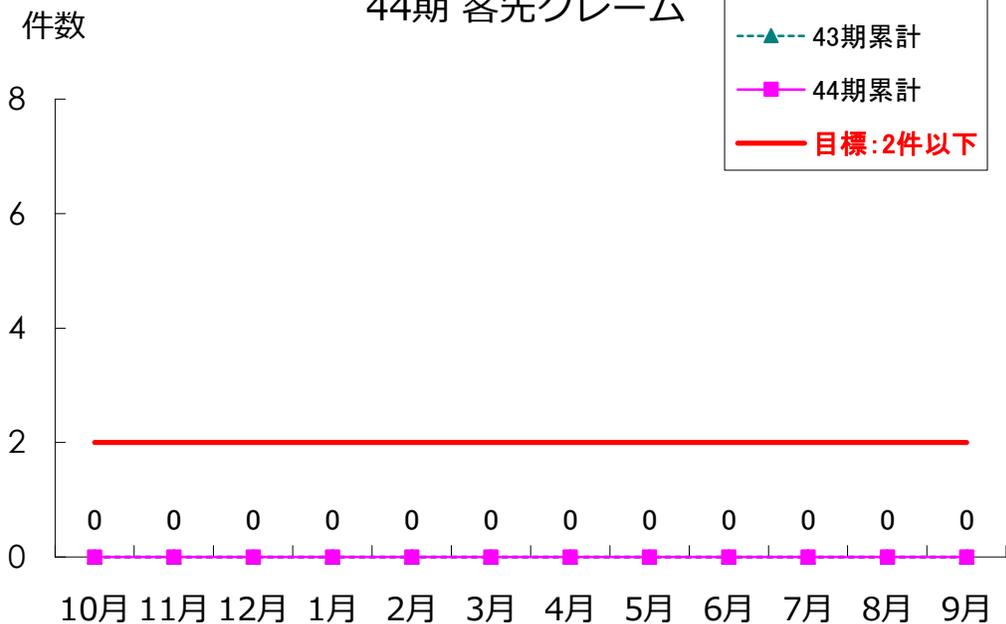
納入不良率 目標 80ppm
 44期の累計不良率(解析含む) : 56ppm

客先クレーム (目標 : 2件以下) : 0 件

44期 市場不良率「電源」



44期 客先クレーム



ESG Report (環境)

今月のTOPICS

■ 海洋プラスチックごみの現状は？ 流出量の多い国や私たちができること

海洋プラスチックごみは何年も前からその存在を危険視され、海洋環境や生態系への影響が懸念されてきました。2015年に国連で制定されたSDGsでは目標14「海の豊かさを守ろう」が掲げられ、海洋資源を利用する多くの国が取り組んでいます。ではその取り組みによって、現在の海洋プラスチックごみの状態はどうなっているのでしょうか。また海洋プラスチックごみはなぜここまで大量に出てしまったのかなどを紹介します。

□ 海洋プラスチックごみの世界の現状とは

近年、世界に広がる海洋の多くでプラスチックごみが問題になっています。ペットボトルやビニール袋などのプラスチックが海に処分されたり、ポイ捨てされたごみが雨や風で河川に入り海へ流れ出ています。これにより、海洋生物が間違えて食べたり、プラスチック製の網などが絡まったりなどして、最悪の場合死んでしまうといった問題が世界中で起きています。

また、プラスチックごみが劣化などで小さくなり5ミリ以下になったものをマイクロプラスチックごみと言いますが、これらが北極や南極でも観測が確認されました。このマイクロプラスチックごみも、海洋生物が間違えて食べてしまうことで炎症反応や摂食障害が起こることが分かっています。世界全体のプラスチックごみの量は少なくとも年間800万トンあり、このままいけば2050年には魚よりプラスチックごみの方が多くなることも予想されています。

日本でも海岸にごみが漂着しますが、環境省が2016年度に全国10地点で実施した調査結果によると、重量ベースで自然物が、容積及び個数ベースではプラスチック類が最も高い割合を占めています。また、回収されたペットボトルの製造国別の割合は場所によって差がありますが、多い地点で外国製が8割、少ない地点で2割でした。それ以外は国内から出たごみとなります。私たちは、自分たちの手で海を汚してしているのです。プラスチックごみの主要排出源は東アジアや東南アジアであるという推計もできていることから、この問題は開発途上国も含めた世界全体で取り組む必要があります。

今月のTOPICS

☑ プラスチックごみの流出量が多い国は？

右表はプラスチックごみの発生量が多い国をランキングにまとめたものです。

データは2010年時点のものですが、日本は30位に位置していました。

この表からもわかるように、1位の中国は圧倒的に多いプラスチックごみが発生しており、海洋プラスチックごみの原因を作っていました。

また4位までを見ると東・東南アジアの国が占めていることがわかりますが、世界の海洋の中でも東アジア海域は海洋プラスチックごみの問題が深刻であることが報告されており、その要因がここにあると考えられています。

☑ 中国ではプラスチックごみの輸入を停止

このような報告、そして一部の地域で環境保護を軽視し、人体や生活環境に対して重大な危害をもたらしたことから、中国は「固体廃棄物輸入管理制度改革実施案」を公表しました。これによると中国はこれまで輸入してきた廃プラスチックなど環境への危害が大きい固体廃棄物の輸入を2017年末を機に禁止するとともに、2019年末までに国内資源で代替可能な固体廃棄物の輸入を段階的に停止すると発表しました。これまで中国は日用品や工業製品に使うため、安価な再生素材獲得のため世界の廃プラスチックを輸入し受け入れてきました。1988年から2016年までに中国が輸入したプラスチックごみは計2.2億トンであり、これは世界で発生した廃プラスチックの約7割を占めるといわれています。

国名	プラスチックごみ発生量 (万トン/年)
1位 中国	132~353
2位 インドネシア	48~129
3位 フィリピン	28~75
4位 ベトナム	28~73
5位 スリランカ	24~64
6位 タイ	15~41
7位 エジプト	15~39
8位 マレーシア	14~37
9位 ナイジェリア	13~34
10位 バングラデッシュ	12~31
...	
20位 アメリカ	11
...	
30位 日本	6

図：環境省HPより

今月のTOPICS

☑ 海洋プラスチックごみを減らすために私たちができること

海洋プラスチックごみ削減のため、各国政府や、関係機関、あるいはプラスチックを取り扱う企業などが取り組みに参加しています。しかしこのようなプラスチックごみに対し、私たち消費者による削減の取り組みも必要不可欠です。それはではどのようなことを行っていけば、海洋プラスチックごみを減らしていくことができるのか、それをご紹介します。

・3Rを心がける

3Rとは「リデュース (Reduce)」「リユース (Reuse)」「リサイクル (Recycle)」のことを言います。プラスチックは分別し、再利用すれば資源にもなります。この3Rはどれもプラスチックごみを出さないための工夫であり、資源として再利用する方法を示しています。

・プラスチックごみを減らすための行動をする

プラスチックごみを減らすための行動をすることも大切です。マイバッグを持参する、詰替え用ボトルを利用する、といった行動は私たちが生活していく中で意識するだけでプラスチックごみを減らすことができる方法になります。

・ゴミ拾いやボランティアに参加する

海に流れ着くプラスチックごみの量は非常に多く、定期的な清掃を行ってもなかなか減らず、また海岸は広いためどうしても人手が必要となります。そのため、清掃活動やボランティア活動に積極的に参加することは海を守る上では大切なことなのです。さらに海洋ごみの問題を広く伝えるイベントのボランティアに参加するのもいいでしょう。清掃活動を行う団体の中には、海洋ごみの問題をもっと多くの人に知らせようとイベントを行っている場合もあります。こちらでも人手を必要とすることが多いので、ボランティアとして参加することで間接的にはありますが海洋プラスチック削減の手助けを行うことができます。

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



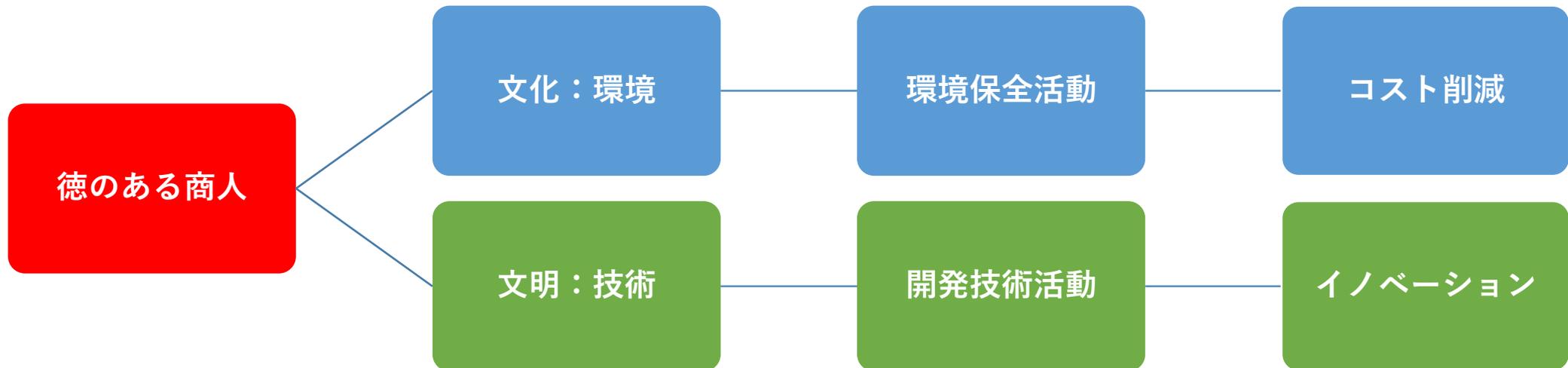
サンシングループ環境経営への歩み

1. 環境経営の基本マインド

* サンシングループ経営理念

私たちは お客様を愛し お客様から愛される

徳のある商人を目指す：世界の**文化・文明**発展のために



2. 環境への取り組み

2002年から現在までの経緯



2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識。

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで**環境MSを整備**。

2004年～

グループ企業体の発足に伴い**経営理念**を創設。 **CSRを能動的に展開**。

2014年～

健康経営を標ぼう，以後，東京都認定。

2020年～

CSV経営を宣言， **ESGとSDGs**を重視。

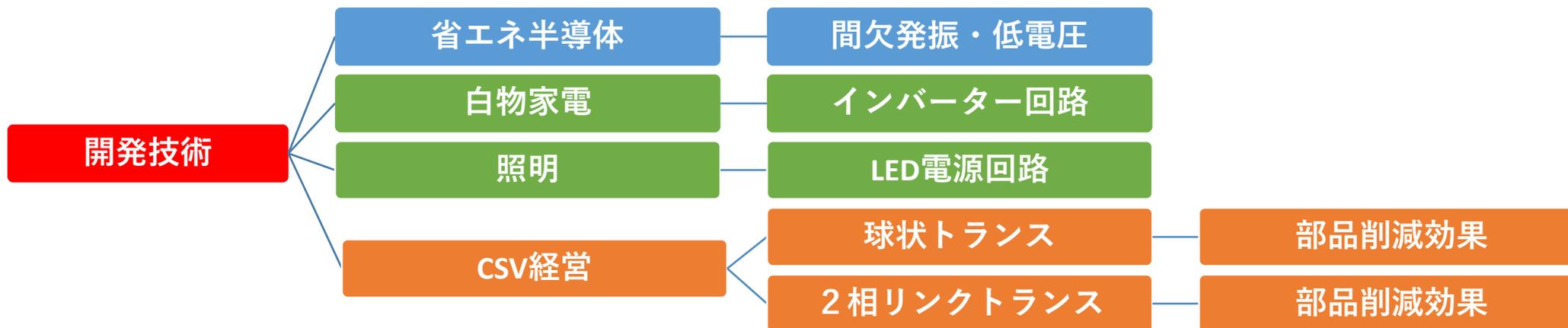
3. コスト削減実績

- **紙/ゴミ/電気**, 三種の神器, 徹底削減の継続
 - **テレワーク**による電気/交通費削減
 - 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
 - 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
 - コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント
- ⇒ **グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！**

※2004年度対比

4. イノベーション事例

- 環境保全の開発技術ビジネス



4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

LED照明用の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

環境とイノベーションを結び付けた技術開発

CSV経営 モノ×コト = 価値創造

5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
 - 4：輸送配送
 - 5：廃棄物
 - 6：出張交通費（旅費除く）
 - 7：従業員交通費

6. まとめ

- ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- 事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- 環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- サンシングループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組みます！

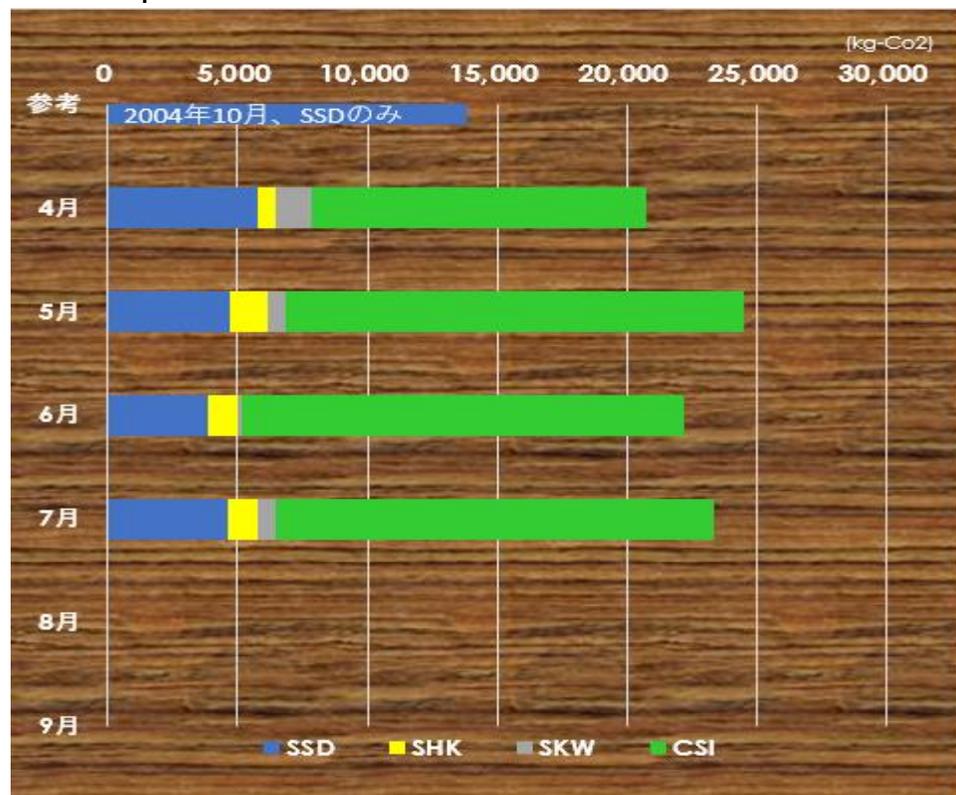


活動報告

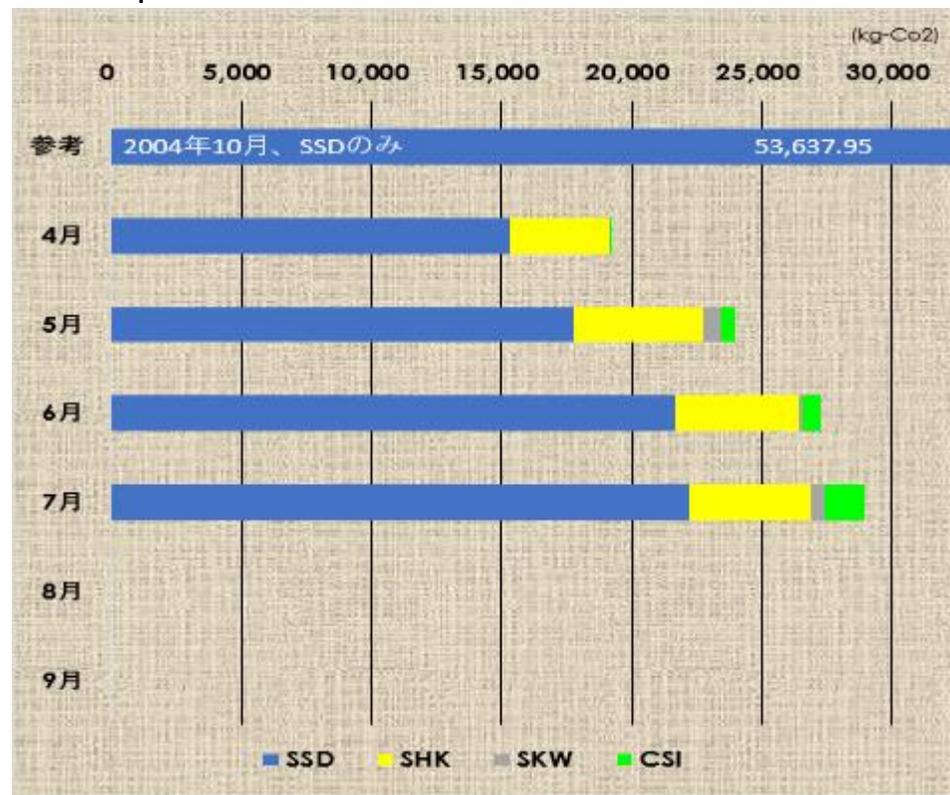
- ① サプライチェーン排出量
- ② 廃棄物排出量
- ③ 電力使用量

SSGサプライチェーン排出量

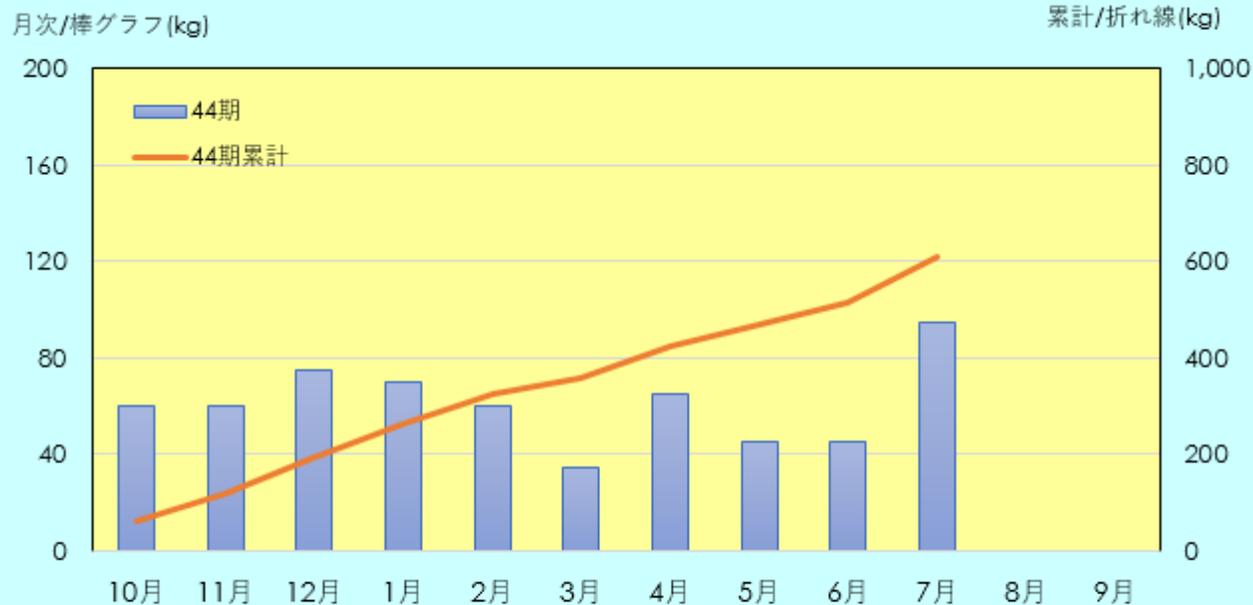
- Scope 1：該当なし
- Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）



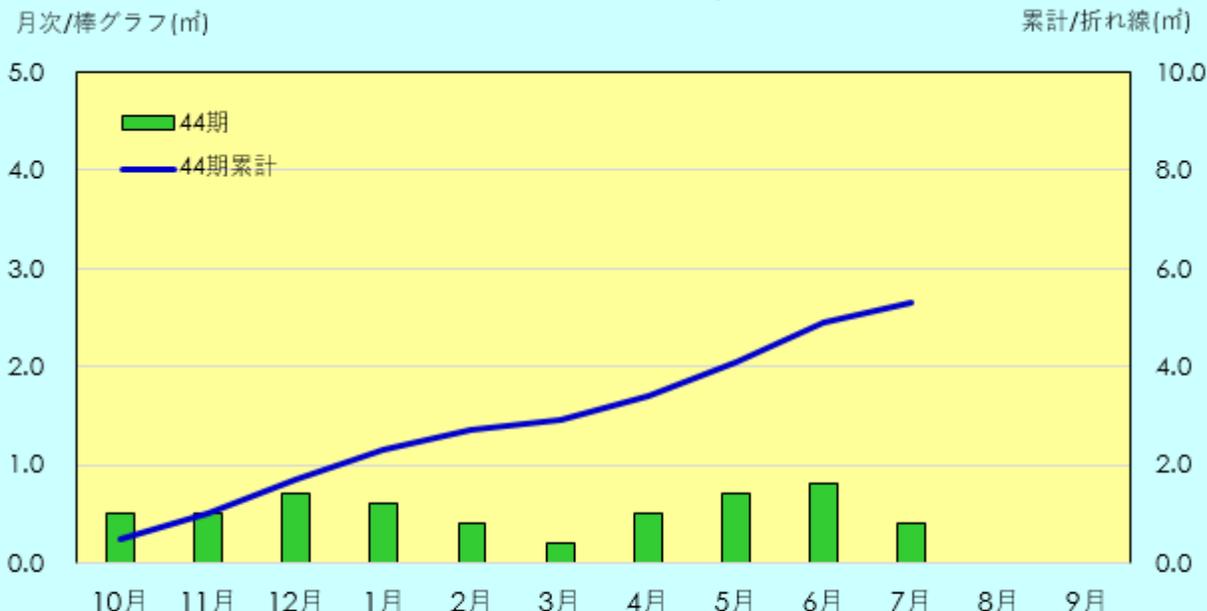
- Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）



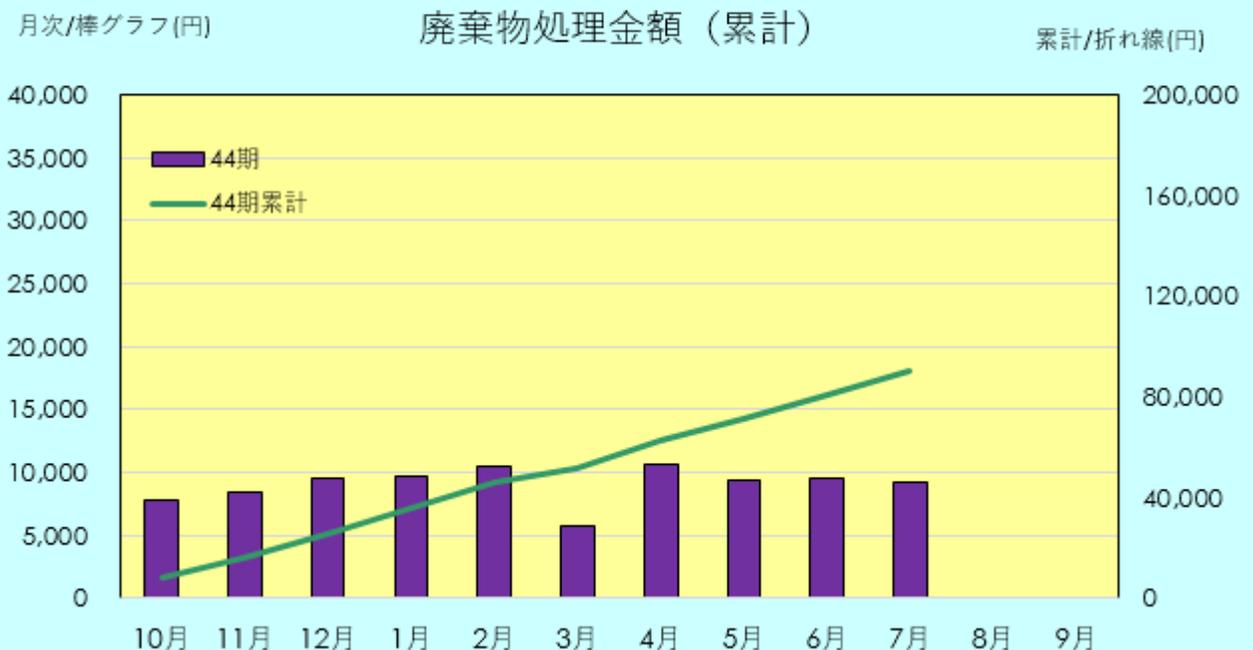
一般廃棄物 (SSD/本社)



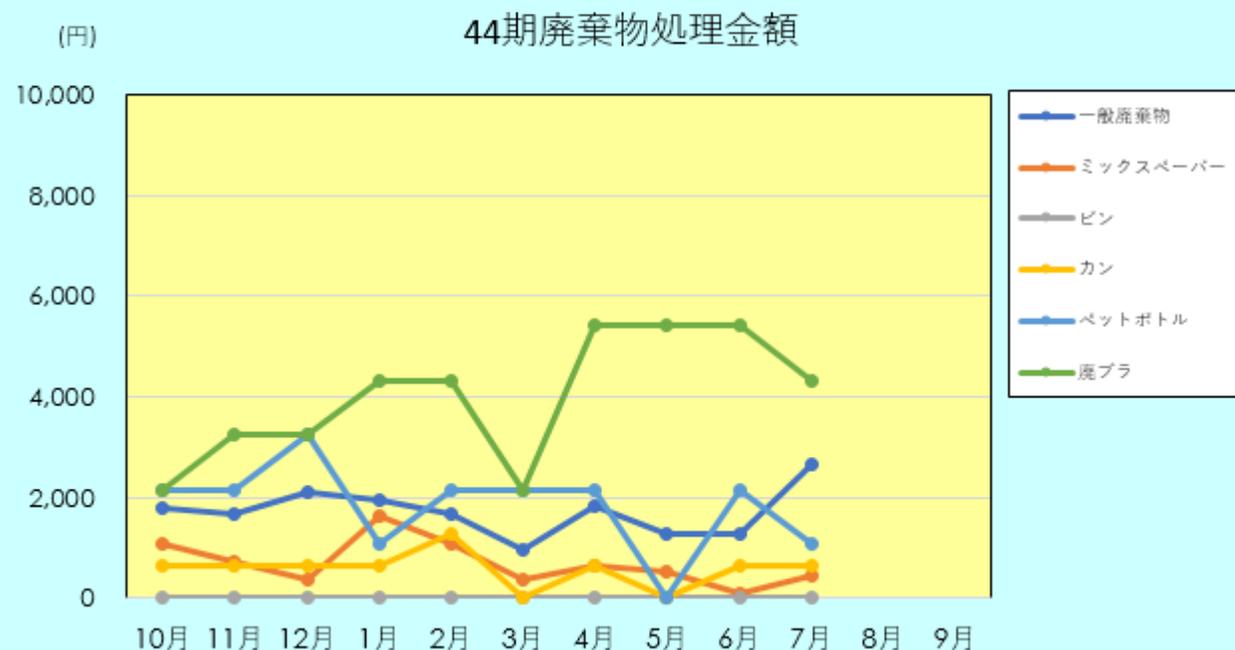
一般産業廃棄物 (SSD/本社)



廃棄物処理金額 (累計)



44期廃棄物処理金額



電力使用量 (SSD/本社)

月次/棒グラフ(kwh)

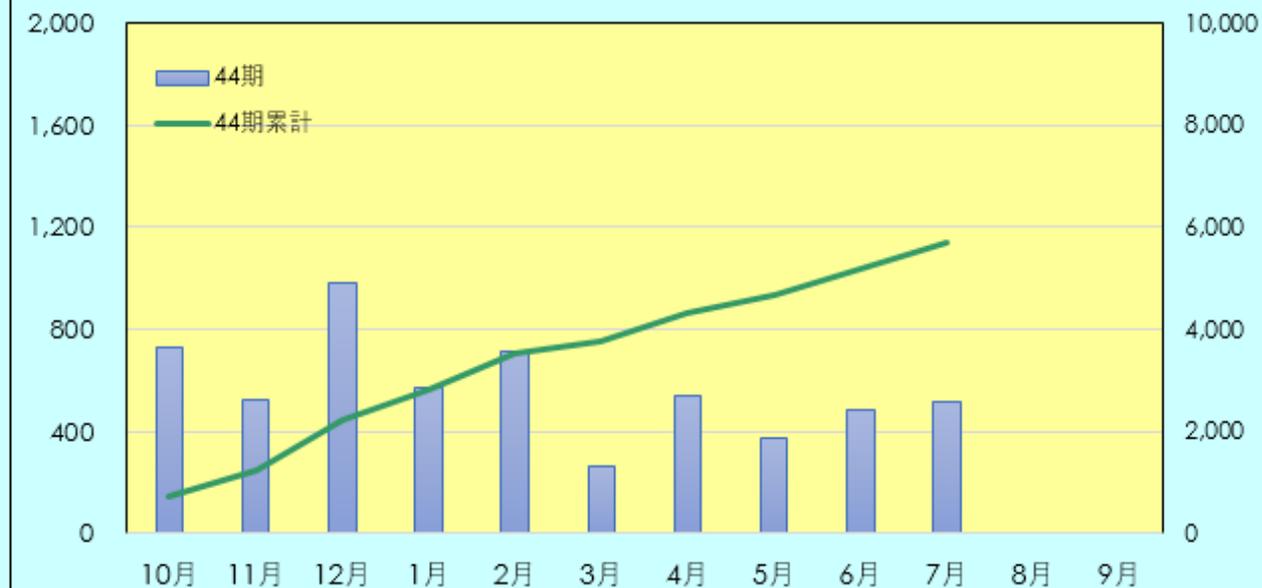
累計/棒折れ線(kwh)



電力使用量 (SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(kwh)

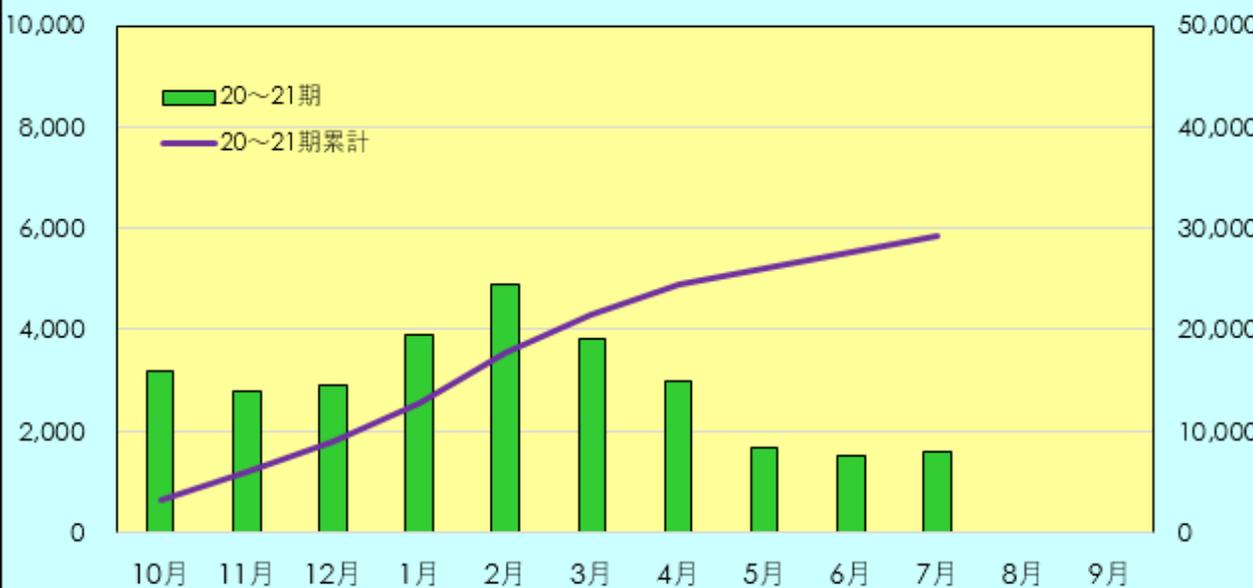
累計/棒折れ線(kwh)



電力使用量 (SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

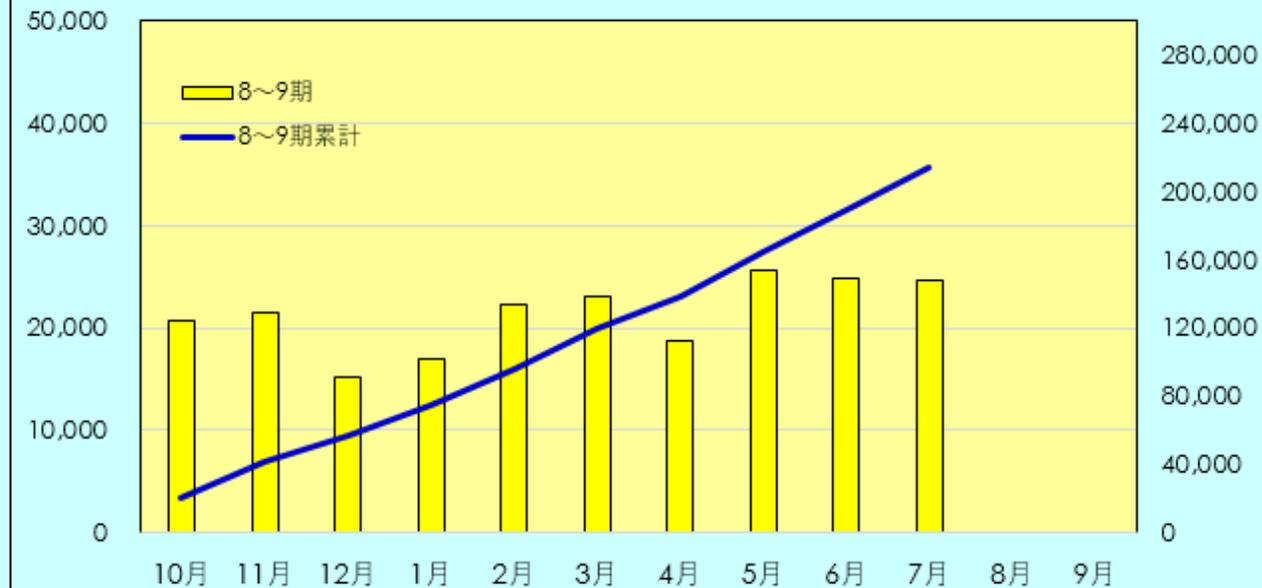
累計/棒折れ線(kwh)



電力使用量 (CSI)

月次/棒グラフ(kwh)

累計/棒折れ線(kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

●サンシン電気本社ビルの空調設備を一新しました！

現在のサンシン電気本社ビルは2000年に建設されました。設備の老朽化に伴い、この度、地下1階～地上3階まで全館の空調設備の一式入替工事を行いました。写真の通り、クレーン車が出動して屋上の室外機を吊り上げる大規模な工事となりました。

8月19日現在、工事は無事に完了し、各フロアで快適に業務を行うことができます。新しい空調設備は省エネ効果もありますので、脱炭素化へのさらなる貢献が期待できます。

快適な職場環境で従業員の健康を守りながら生産性向上に努めるとともに、CO2排出量の削減にも引き続き取り組んでまいります。



工事の様子

活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（7月参加人数：延べ2名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 動物介在ボランティア活動実施（ミタスライフ）
※2020年8月時点では、コロナ禍により活動を休止しています。
- 学習塾において生徒のコーチング＋学習支援事業を実施（ミタスライフ）

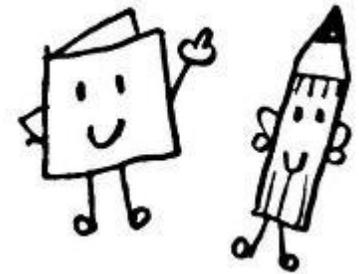


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績6名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 勤続表彰者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2022年5月更新）⇒6年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」の認定取得（2017年～2021年）
- 東京都より「スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」の認定4年連続取得（2017年～2020年）
- メンタルヘルスケアの一環として従業員用オンライン相談フォームを設置（海外拠点からも投稿可能、匿名でも投稿可能、秘密厳守）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・情報セキュリティ・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシングループ石井代表と選抜メンバーによる「CSV研究会」を開催中
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



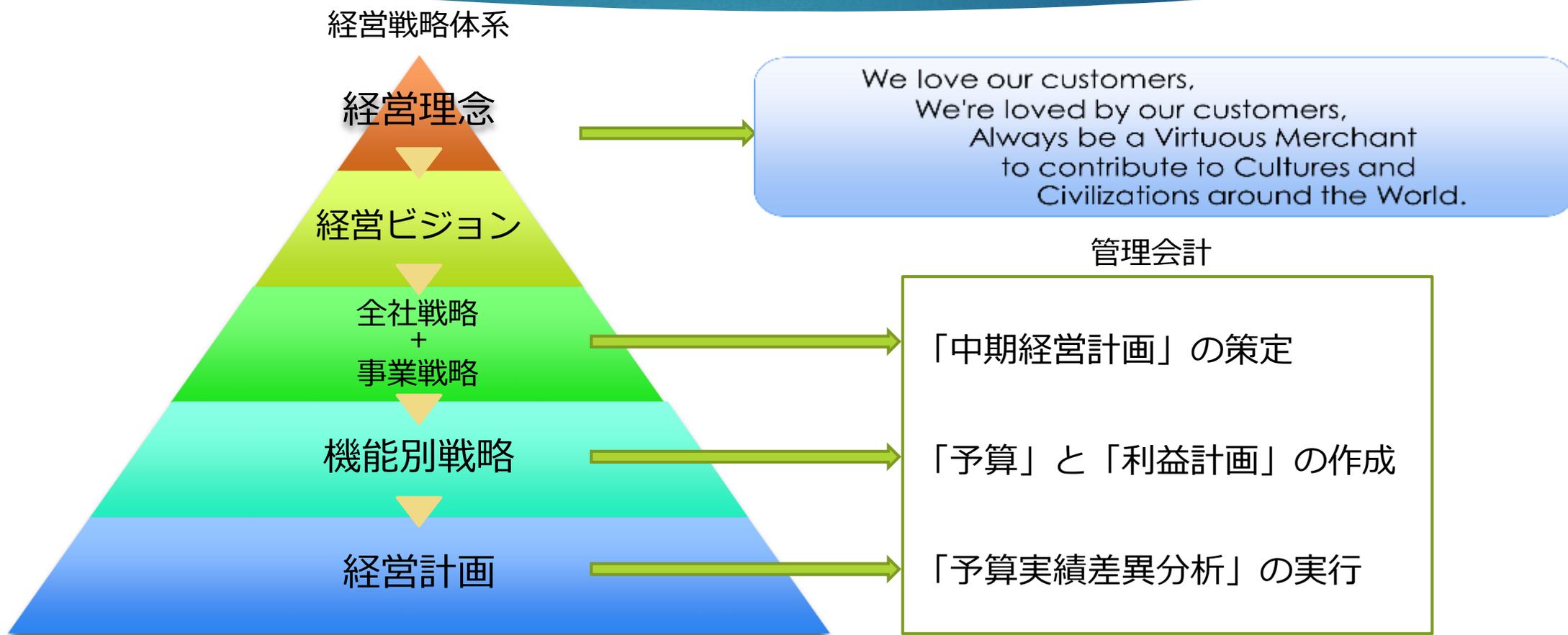
サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,
We're loved by our customers,
Always be a Virtuous Merchant
to contribute to Cultures and
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

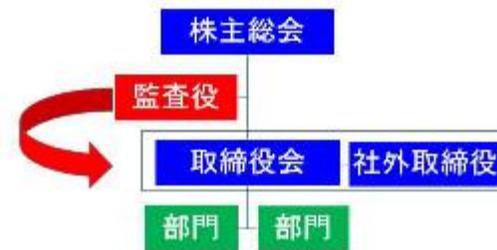
■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、13ページ。

CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、14-16ページ。

サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

マネジメントシステムの基本構成

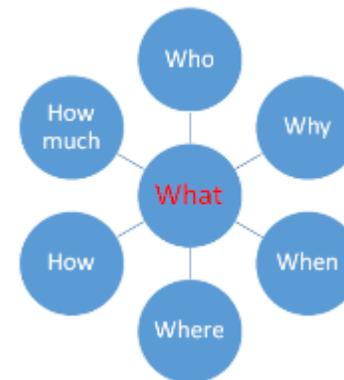


マネジメントシステムのレビュー



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、48ページ。

ビジネスの5W2H



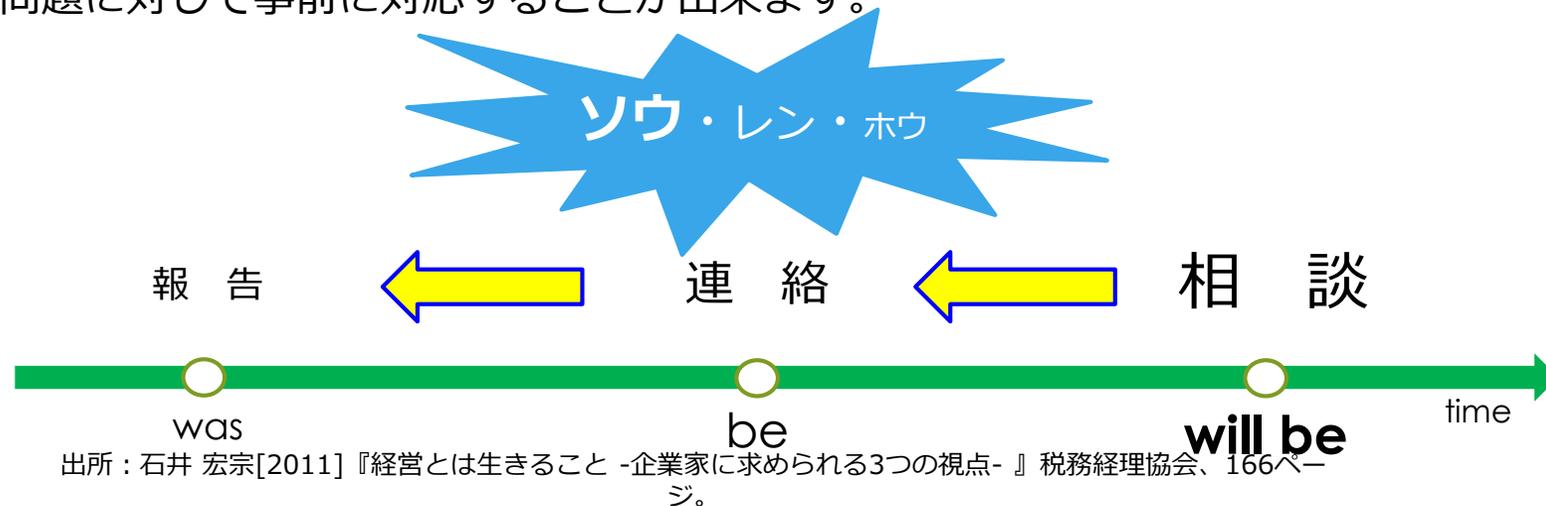
PDCA→P' サイクルの概念



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、42ページ。

未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



 編集後記 SSD, 営業管理課 Y.Y.

最近涼しい日も多く、いよいよ夏の終わりを感じます。それと同時に非常に寒暖差の激しい時期でもありますので、皆様くれぐれも体調にはお気を付けください。また、台風が多く発生する季節です。有事の際は上長の指示を仰ぎ、無理の無いようにご対応をお願い致します。